

～さがそうみらいプロジェクト～

キャリア教育だより



発行元:相模原市教育委員会キャリア教育推進チーム / 令和7年1月発行 No. 4

特別支援学級におけるキャリア教育の取組紹介

キャリア教育は、一人ひとりが「自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現すること」をめざした一連の教育活動です。学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことは、障害の有無に関わらずすべての児童生徒に必要です。

「特別支援教育」においては、各学校段階におけるキャリア教育の推進を「個々の障害の状態に応じたきめ細かい指導・支援の下に行う」とされています。

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（中央教育審議会，2011）参考



目標設定

キャリア教育で育みたい力（社会的・職業的自立に向け必要な4つの力）について相模原市では「つながる力」「自律する力」「乗り越える力」「見通す力」として、児童生徒とも共有できるように表しています。

4つの力の具体的な姿について絵や言葉を用いて提示し、繰り返し確認するなど児童生徒自身が目標を意識することも重要です。



R6 教育課程発表資料より

振り返り

学んだことをキャリア形成と関連づけるために、振り返りの方法を工夫することも考えられます。できるようになったことや自分の良いところを視覚的に記録し蓄積することで自分自身の成長をより実感することができる児童生徒もいます。R6年度の教育課程研究会（特別支援部会）では、「キャリアの木」にシールを貼り、視覚的に振り返るという実践が紹介されました。



R6 教育課程発表資料より

「キャリア・パスポート」の活用

「キャリア・パスポート」に自分の成長や良いところを記録・蓄積することは自分らしい生き方の実現を支える上でとても大切です。相模原市では、Googleドライブの共有ドライブに特別支援学級用の「キャリア・パスポート」を格納しています。学校や児童生徒の実態に応じて編集することが可能ですので、ご活用ください。

「キャリア・パスポート（特別支援学級版）」

- 1 「育てたい力」リスト
- 2 リフレクション型
- 3 イベント型

格納場所はこちら→



国立特別支援教育総合研究所から発行されている「キャリア教育」に関するリーフレットもご活用ください。

キャリア・パスポートの作成と活用

一人一人の子供の「自分らしい生き方」を目指し、キャリア・パスポートを活用してみませんか？キャリア・パスポートが果たす役割やキャリア・パスポートを有効に活用するために必要なことなどを紹介しています。

Vol. 14



見えにくさのある子供の理解と支援

見えにくさのある子供はいませんか？見えにくいというのはどういうことか、その他にどんな見えにくさや困難があるかの説明や色覚異常がある場合などを紹介しています。

Vol. 15

